合同会社スターズ

Arch 助成金・補助金コンサル

もらわなきゃお損



目次

01 Archとは

02 助成金の基本

03 助成金と補助金の違い

04 助成金へのよくあるイメージ

05 助成金を受給できる“3つの基本条件”

06 助成金の現状

07 Archに依頼するメリット

08 導入ステップ

09 助成金導入事例

10 助成金導入実績

11 補助金導入実績

12 自社で申請する場合の注意点

13 料金プラン（社労士費用＋イメージ）

14 助成金の3つのフェーズ

15 他社とArchの決定的な違い

16 お問い合わせ先

会社概要

会社名	合同会社スターズ
所在地	〒230-0062 神奈川県横浜市鶴見区豊岡町14-27
代表者	堤 星也
連絡先	info@stars203.com
事業内容	WEB制作（HP・LP・ECサイト） Arch (助成金補助金コンサル) コーチング支援 (ライフデザイン・マネジメント)

01 Arch 助成金を“確実に受け取る”ための専門サポート

Archとは？

厚生労働省が管轄する助成金の活用を専門としたコンサルティングサービスです。

お客様が受け取れる可能性のある助成金を診断し「どの助成金が、いくら受け取れるか」を明確にご提案します。

その後は、必要書類の準備や申請手続きなど、**受給までのすべてのステップ**を社労士と連携して完全サポート。

受給計画 → 申請 → 受給

お客様の負担なくワンストップで伴走します。

1 助成金受給計画

社労士と打ち合わせし、
どの助成金をどう受け取るかを決める

2 助成金申請

必要書類の準備 → 実際の申請。

3 助成金受給

02 助成金とは



助成金は、厚生労働省が企業の“**雇用環境づくり**”をサポートするために設けている**返済不要の給付制度**です。

具体的には？

- ☑ **従業員を安定して雇い続ける**
- ☑ **働きやすい職場環境をつくる**
- ☑ **教育・採用・待遇改善に取り組む**

といった取り組みを行う企業に対して、国が“お金を支給して応援する”制度です。
しかし、実際には制度が複雑で知られていないため、**多くの企業が受け取れるはずのお金を逃しています。**

助成金を活用することで

- ☑ **経営負担の軽減**
- ☑ **働きやすい環境づくり**
- ☑ **従業員のモチベーション向上**

など、企業にとって大きなプラスにつながります。
返済不要で自由度の高い制度だからこそ、**知っている企業だけが確実に得をしています。**



03 助成金と補助金の違いは？

項目	助成金	補助金
管轄	厚生労働省	経済産業省
内容	雇用促進・能力向上など	起業促進・設備導入など
受け取りやすさ	**易｜条件を満たせば基本100%受給**	**難｜採択数が決まっており競争になる**
使用制限	**自由に使用可能**	**申請内容のみ使用可能**
募集期間	通年	募集時期から数週間のみ

助成金は？

“お年玉”

条件さえ満たせば、**基本100%受け取れる返済不要のお金。**使い道の自由度も高く、企業にとって**最も活用しやすい制度**です。



補助金は？

“セール（割引）”

システム導入など**“何かを導入すること”が前提**で、採択数が決まっているため競争（審査）があります。**自己負担も必要**になります。



04 助成金のイメージ

ハードルが
高そう

うちは対象
じゃなさそう

返済義務が
あるのでは？

詐欺っぽくて
怖い

不正受給にな
りそうで心配

しかし実際には

基準となる3つの条件を満たしていれば、**ほとんどの企業が対象**になります。助成金は **雇用保険** が財源です。

知っている企業だけが受け取れ、知らない企業はずっと取りこぼし続ける。**助成金は活用しているかどうか**だけの差です。つまり、**従業員のために雇用保険を支払っている企業**こそ、本来受け取れるお金です。

条件を満たしているのに申請しないのは、受け取れるはずのお金を逃している状態と言えます。



※基準となる3つの条件は次のページへ↓

05 助成金を受給できる“3つの基本条件”

対象者を雇用保険・社会保険に加入させている

従業員を正しく保険加入させている企業は本来受け取れる立場です。

直近6ヶ月以内に会社都合の解雇をしていない

やむを得ない事情を除き、適切な雇用を維持していることが基準です。

過去1年間に労働関係法令の違反がない

一般的な運営をしていれば、ほとんどの会社がクリアしています。

（例：残業代未払い、契約書未整備など）

この3つの条件を満たしていれば、多くの企業が**助成金を受け取れる可能性**があります。

※「条件が合っているかどうか」や「今どの助成金が使えるか」は、無料診断でその場で確認できます。

06 助成金の現状

実は、中小企業・個人事業主の 9割以上が助成金をうまく活用できていません。

その理由は？

- ☑ 国（厚生労働省・労働局）が**積極的に案内していない**ため、情報が届かない
- ☑ **申請書類が複雑**で、専門知識がないと進められない
- ☑ 顧問社労士でも**対応していない**助成金が多数ある
- ☑ **申請が手間**で、つい後回しになり期限を逃してしまう
- ☑ 「条件に当てはまらない」と **誤解**している
- ☑ 助成金と補助金の違いが分からず、**そもそも知らない**
- ☑ 実際にうまく活用しているのは、**情報を持っている大企業ばかり**



つまり、本来**受け取れるはずのお金を“見落としている”企業**がほとんどなのです。

07 Arch に依頼するメリット



1 申請業務は丸投げでOK

申請の進行・管理・各機関への対応はすべてサポート！

お客様には、**打ち合わせへのご参加と、必要な情報や書類の提出・確認のみ**ご協力ください。**それ以外の実務はすべてArchが対応**します。

2 顧問契約は不要 社労士のフルサポートを必要な分だけ利用できる

多くの社労士事務所は、顧問先にしか助成金申請を受けません。

しかしArchは**顧問契約なしで、助成金専門の社労士が対応。無駄な顧問料がかからず、**必要な支援だけを受けられます。

3 知らないと取りこぼす 助成金を、確実に拾える

助成金は毎年内容が変わり、国が管轄する助成金は数百種以上あります。その中で、**実際に助成金の申請をミスなく対応できる社労士は全国でも1割未満といわれています。**

Archでは、助成金の専門社労士と共に、事前に会社の状況を丁寧にお伺いしたうえで、**「使える可能性が高い助成金」に絞った無理のない計画**を立て、取りこぼしを防ぐ助成金活用をサポートします。

08 導入ステップ

01 無料診断

企業の状況をヒアリングし、**受給できる可能性と概算額**を抽出します。

02 ご提案

診断結果をもとに、対象となる**助成金・受給までの流れ・想定受給額**を分かりやすくご提示します。

03 申請サポート

打ち合わせ、書類作成、必要資料の整備、労働局とのやり取りなど、**申請に必要な工程をすべて代行**します。

04 受給

申請後のフォローアップも実施。**受給完了までワンストップで伴走**します。



09 助成金導入事例

建設業｜約575万円を受給

正社員化 80万円 × 6名

賃金規定等共通化 57万円 × 1企業

諸手当制度共通化 38万円 × 1企業

販売業｜約338万円を受給

正社員化 80万円 × 3名

特別育成訓練 98万円 × 1名

製造業｜約335万円を受給

正社員化 80万円 × 3名

賃金規定等共通化 57万円 × 1企業

諸手当制度共通化 38万円 × 1企業

（賞与・食事手当導入の場合）

飲食業｜約851万円を受給

正社員化 80万円 × 7名

特別育成訓練 98万円 × 2名

賃金規定等共通化 57万円 × 1企業

諸手当制度共通化 38万円 × 1企業

企業の状況に合わせて、数十万〜数百万円規模の受給が実現！※金額は一例です

10 助成金導入実績

総申請件数

約12,000件

受給率

100%

受給総額

数十億円規模

受給率100%を実現している理由

- ☑ **確実に受給できる案件のみを選定し申請**
  → 助成金制度の細かな条件まで社労士が精査し、
  “通るものだけ” を申請するため、不支給リスクゼロ。
- ☑ **元請けとして、主要な助成金を幅広くカバー**
  → 他社のような下請けではないため、制度変更にも即対応。
- ☑ **経験豊富な社労士チームが担当**
  → 申請書類の不備・書類ミス・期日漏れなどが一切ない体制。

対応業種も幅広く、全国の企業をサポート

製造・建設・IT・サービス・飲食など、**企業規模や業態を問わず実績があります。**

受給した資金は**人材育成、設備投資、職場環境改善などに活用**され、企業成長の大きな原動力となっています。

11 補助金導入実績

Archでは助成金を中心にサポートしていますが、補助金についても多数の採択実績があります。

事業再構築補助金	小規模事業者持続化補助金	IT導入補助金	飲食店向け経営基盤強化支援
84社	343社	286社	64社

新宿区経営力強化補助金	経営展開サポート事業	その他多数の補助金で採択実績
83社	27社	あり

採択率も全国平均を大きく上回る水準 （例：事業再構築補助金：全国平均 約78.5% → 当社はそれ以上を達成）

補助金は審査制のため、制度ごとに採択率が異なります。 ※上記実績は2025年5月1日時点のものです。

12 助成金を自社で申請する際の「注意点」

01 書類が非常に多く、整合性が必須

- 助成金1つにつき **数十枚の資料提出が必要**
- 内容に矛盾や不備があると **不支給の可能性**
- 訂正が多いと審査が遅れ、受給が大幅に遅延することも

02 助成金には“期限”がある

- 助成金ごとに **提出期限が厳格に決まっている**
- 期限を過ぎると **受給できない**
- 同じ助成金を **再申請できなくなるケース** もあるため注意が必要

03 申請には専門知識と実務が必要

- 就業規則の変更・計画書作成など、**専門的な書類作成が必須**
- 場合によっては社労士との顧問契約が必要になり、**費用負担が大きくなることも**
- 不支給になった場合**ペナルティが発生する可能性がある**

13 料金プラン

1年プラン

35万円（税抜）

助成金の受給計画～申請～受給までを1年間フルサポートする基本プラン。

- ☑ 就業規則は1年間で10万円
- ☑ ノルマは「受給計画」だけ（＝フェーズ1達成でOK）
- ☑ 計画が立てば、受給まで追加費ゼロで伴走

2年プラン

70万円（税抜）

長期で複数の助成金を進めたい企業向け。計画が多いほどコスパ良く活用できるプラン。

- ☑ 就業規則は2年間で10万円のみ
- ☑ 2年にまたがる申請が多い企業に最適
- ☑ 受給額が大きい企業ほどお得

分割プラン

3万円/月（税抜）

“契約期間の縛りゼロ”で、助成金の相談・診断・計画づくりをいつでも自由に利用できるプラン。

- ☑ 無期限サポート（いつでも相談OK）
- ☑ 費用を抑えてスタート！
- ☑ 最低12ヶ月契約で安心して運用可能
- ☑ Web制作とのセット割・連携割引も対応
  例：Web制作依頼でバナー3枚プレゼント

13 料金プラン（社労士費用＋実際の費用イメージ）

別途かかる費用はこの2つだけです

- ☑ **就業規則作成費**
  10万円（着手金込み）
- ☑ **成功報酬**
  受給額の**13%**

なぜ成功報酬13%なのか？

助成金業界の成功報酬は…

最安 8%　一般 20〜30%

高額 45%　その中でArchは

社労士が継続できて、お客様も損しない最適バランスが、**13%**と判断しています。

費用イメージ

（100万円の助成金の場合）

成功報酬 13万円　就業規則 10万円

1年プラン 35万円(税抜)

合計 約60万円

お客様の手元には
約**40万円**が残ります。

過去実績から分かる損しない理由



過去12,000件の中で
最低手残りでも約**30万円**のプラス。

“やらなければ0円”の助成金なので
マイナスになったケースは**ゼロ**

申請が2年にまたがるケースについて（ご案内）

助成金は制度上、申請〜受給まで時間がかかる場合があります。そのため、

1年プランのお客様 → 2年にまたがる場合、
就業規則費用は合計20万円（10万円 × 2年）

2年プランのお客様
就業規則費用は2年間で10万円のみ（追加なし）

※実際には、受給計画（フェーズ1）が立った後は追加費ゼロで最後まで伴走するため、ご負担は最小限です。

14 助成金の3つのフェーズ

01 受給計画フェーズ（まずは計画づくり）

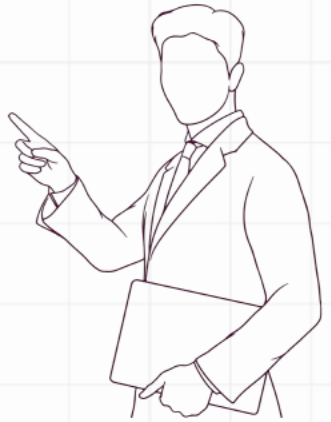
社労士と打ち合わせし、
「どの助成金をどう受け取るか」 を決める段階。
契約から数日で達成。

02 申請フェーズ（会社によって期間が大きく違う）

必要書類の準備 → 実際の申請。
企業の状況により、
数ヶ月〜数年かかる可能性もある。

03 受給フェーズ（お金が振り込まれる）

申請が通った後、
受給までは半年〜1年ほどが目安。



助成金は制度上、ゆっくり進むのが当たり前。でも**一度体制が整えば、翌年度以降は毎年もらえる状態**になります。

“3年かかった” もよくある話

15 他社とArchの決定的な違い

01 | 他社の一般的な仕組み

ノルマ：申請 or 受給を1年以内
でも申請は 2〜3年かかる会社が多数
成果ゼロでも更新費だけ発生

実質ムリなノルマで、トラブルの原因。

大手助成金会社の口コミが★1〜2になる。

02 | Archなら“損しない仕組み”

- ☑ **ノルマはフェーズ1（受給計画）だけ**
- ☑ 社労士と計画を立てた時点で ノルマ達成扱い。
- ☑ **申請が2,3年かかっても、 追加費ゼロで最後まで伴走。**

受給計画が1つも立たない場合は、**プランの金額分を受給できるまで無料で延長サポート。**

さらに、社労士と直接組んだ**“元請け体制”**で、12,000件以上・損失ゼロ・パンクしない申請力を実現。

他社にはない**フェーズ1ノルマ × 最低保証**の仕組みでお客様が損をしない設計になっています。

15 他社とArchの決定的な違い（比較表）

比較項目	Arch(アーチ)	助成金代行会社	顧問社労士
損しない仕組みがある(追加費用等)	◎	×	△
申請が長引いても追加費用なし	◎	×	△
最低限の受給保証がある	◎	×	×
社労士と直接連携している	◎	△	◎
トラブルが起きにくい設計	◎	×	△
受給までのフォロー	◎	△	△
助成金受給率	100％	90％前後	70～90％

※本表は、特にご相談が多い項目を中心に抜粋して掲載しています。
Archではこの他にも、**受給計画・進行管理・長期化時の対応など、実務上のリスクを減らす設計を行っています。**

16 お問い合わせ先



ご覧いただきありがとうございました!

本資料に関するご質問やご相談は、下記までお気軽にお問い合わせください。

メールでご連絡はこちら
info@stars203.com

スターズ
コーポレートサイトへ

無料診断はこちら